四ケ月
京城日報

社説　新世界史第二年

皇紀二千六百一年、新世界史は日本民族の血を以て書かれ始めた。二千六百二年は、恐らくはその第一節を完成するであらう。即ちアングロサクソン民族を根幹とする白人中心の不公正極まる世界支配が崩壊し、日本を盟主とする十億のアジヤ人が世界秩序の一抵柱として歴史の本流に登場したのである。英、米、蘭諸國は既に大東亞より一掃せられ、アジヤの諸民族は數世紀の奴隷生活より解放せられた。これ偏へに　天皇陛下の大御稜威と我が陸海將兵が獻身報國の偉勳によるところ。吾等は一億の同胞と共にこゝに戰勝の新春を迎へ謹みて　聖壽の萬歲を奉頌すると共に恭しく陣歿の英靈に感謝の誠悃を捧げ戰線將兵の武運長久を熱禱する次第である。

想ふに武力に及び得ざる敵はその經濟力を恃んで必然長期攻鬪を策し、一面得意の思想謀略をもつて我國内の攪亂崩壞を圖るべきは明白である。即ち今後の戰は戰線にあらずして銃後にあり、戰を決する者は將兵にあらずして國民たる事を銘肝しなければならぬ。經濟力の擴充と鐵石の團結心とは必勝の要諦にして、聖業完遂への絶對守則である。

今やアジヤ十億の同胞は滿洲、中國、泰、マレー、ビルマ、印度等擧げて日章旗の下に續々蹶起し、大東亞共榮圏は將に成らんとしつゝある。半島二千四百萬の同胞が日本の一部としてこの新秩序の指導者たり得るか否かは今日即今に於る覺悟と行動如何にかゝつてゐる。正に歴史的重大時機と言はねばならぬ。

明治大皇は『國民の力の限り盡すこそ、わが日の本の固めなりけれ』と詔へ給ひ、米英に對する宣戰の大詔には『朕カ衆庶ハ各々ソノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算無カラムコトヲ期セヨ』と宣はせられてゐる。聖慮宏遠洵に恐懼にたへぬ。今ぞ一億決死、皇國に生を享け、この光榮を擔ふ責務として戰線の心を心とし一人の後るゝ者なく、力の限り各その本分を盡し、以てこの歴史的大業の完遂に邁進せねばならぬ。

玉體愈よ御健か　夙夜萬機に御精勵
聖壽御四十二を算へさせ給ふ

畏くも　天皇陛下には、八紘一宇の聖詔を大御心とせられて、榮ある日本、安らけき東亞、更に平らけき世界の出現を念はせられつゝ、聖戰を進めさせ給ふこと既に五年、かくて昭和第十七春を迎へさせられ、限りなき御稜威の御もと、世界の日本に旭光いや赫灼として輝く元旦、いと御めでたく寶算御四十二を算へさせられた。

また　皇后陛下には、御四十歳、皇太后陛下には、御五十九歳の新春を迎へさせられ皇太子殿下には、愈よ御健やかに御成育遊ばして御十歳の御正月を壽がせられたが、皇室の御繁榮は天壤とともに窮りなく、民一億は赤誠籠めて慶祝し奉る次第である。

畏くも　天皇陛下には、國際關係重大の世局下、玉體愈よ[illegible]陛下[illegible]御精[illegible]畏れ畏みて回[illegible]攝政宮に在はした[illegible]十[illegible]年の關東大震災、御聖代におかせられては過ぐる滿洲事變、更に今次事變と曠古の重大國難に相次いで遭遇せられ、聖慮を安んじさせ給ふ御暇もあらせられなかつたにも拘らせられず、神助のまにまに惟神の大道に遵はせられつゝ萬機に御精勵、かゝる非常時局下に御身を以て當らせられ、國威を更に[illegible]く中外に輝かせられた。

即位の大禮に際し下し給うた勅語の中に『祖宗ノ擁護ト億兆ノ翼戴トニ頼リ、以テ天職ヲ治メ、墜スルコト無ク愆ツコト無カラムコトヲ庶幾ス』と宣はせ給へる　聖慮の畏さ、今更に恐懼し奉る次第であるが、事變勃發以來、宵衣旰食萬機御親裁に御精勵あらせ給ふ　陛下には、敬神崇祖の大御心愈よ深く渉らせられ、年頭の四方拜、歳旦祭を初めさせられて、大祭、小祭は申すに及ばず毎月三回の旬祭に御親拜あらせられ、毎朝は一日も缺かせ給ふことなく、侍從をして宮中三殿に御代拜せしめられる。

其の御祭祀の森嚴崇高なること拜承するだに畏き極みであるが、元日は寒氣凜々と身に迫る未明、黃櫨染御袍の御束帶を召させられて神嘉殿南庭に下御、神宮を初め神祇山陵を御遙拜、四方拜の御儀を行はせられ、次いで宮中三殿において歳旦祭の御儀を行はせられる。皇祖の大御前に御玉串を奉奠せられて御拜あらせ給ふこととしばし、その間内掌典の奉仕する御節の音は神韻の響を傳へ、太古さながらの森嚴を思はしめる。

新嘗祭には、寒冷の折柄にも拘らせられず暖なき神嘉殿に出御、皇祖の大御前に　陛下御一人、午後六時より二時間次いで同十一時より二時間の二回に亘つて新穀を始め數々の神饌を御親ら御供へ遊ばされ御拜禮、御告文の御後御親らも聞召される御直會の儀を行はせられる。かく嚴肅に　寒暑の別を問はず至高至重の御儀には缺かせ給ふことなく御躬ら之に當らせ給ひ、一日として　皇祖神祇を仰がせ給はざる日とてはあらせられない[illegible]と拜承する。その畏さを現御神と仰ぎ、皇祖と御一體であらせ給ふを奉拜し、萬民齊しく恐懼し奉る次第であるが、御日常、常に皇祖の御心、惟神の大道を以て、萬機御親裁[illegible]

御馬上の御英姿（昭和十六年七月八日陸士卒業式行幸の御英姿謹寫）

今ぞ一億總進軍
内閣總理大臣 陸軍大將 東條英機

東條首相

昭和十七年の新春を迎ふるにあたり、謹みて　聖壽の萬歲を壽ぎ奉り、彌榮えゆく皇室の御繁榮を祝し奉る。

畏くも　天皇陛下におかせられては、肇國以來の重大時局に對し、宵旰御多端なる政務、軍務に御精勵あそばされ、帝國の隆昌を日夜御軫念あらせらるゝ大御心のほどを拜察し奉り、まことに恐懼感激に堪へざるところである。われ〳〵臣民は誠忠の誠を竭し、宸襟を安んじ奉らんことを期する次第である。

顧れば帝國が東亞新秩序建設の悲願のもとに支那大陸に戰ふこと茲に四年有餘、しかして昨年末東亞の禍根たる米英に對し一たび戰端の開かれるや、日ならずして世界戰史に稀なる赫々たる幾多の大戰果をあげ、皇軍の威武はすでに東南アジヤの主要地域を制壓し、太平洋の運命またわが方に掌握せらるゝに至り、國民は戰捷の感激と前途の希望とに燃えて、茲に皇紀二千六百二年の新春を迎へることとなつた。

この秋にあたり帝國と世界新秩序創造の意圖を同じうする獨伊との盟約はいよ〳〵固く、日獨伊三國の鐵盟また磐石として確立し、さらに泰國および佛印との協力はますます緊密の度を加へつゝあることは欣快とするところである。惟ふに大東亞戰爭はたゞに東亞の運命を決するのみならず、實に世界史の轉回を定むべき曠古未曾有の大戰爭である。

この戰において舊秩序の指導者であつた米英兩國の最後の[illegible]反擊が[illegible]戰ひ[illegible]の長期にわたることは免れがたきところである。しかも東亞[illegible]の安寧と世界の眞の平和とを確立し[illegible]の大理想を顯現する途は斷じてこの大戰を戰ひ拔くのほかはないのである。

國民は全力を竭し如何なる艱苦にも堪へて最後の勝利を獲得しなければならぬ。開戰以來の打ち續く戰捷はまことに欣喜に堪へざるものがある。しかしながら國民は徒らに大捷に陶醉し[illegible]前途を樂觀し、あるひは大業すでに成れりと誤認してはならぬ。戰ひはこれからである。

皇軍の精鋭にして征くところ敵なきはもとより言をまたぬ、さりながら前途は今後なほ幾多の難局を踰えて進展して行くのである。しかも今次の戰爭は獨り武力戰の勝利のみによつてその目的を達成し得るものではないのであつて、戰爭につゞく建設の大事業こそ一億同胞の課せられたる重大なる任務である。

大東亞の各地域より米英の勢力を驅逐し、舊秩序を掃蕩して政治、經濟、文化の各分野にわたり新秩序を確立し、世界新秩序[illegible]

今こそ[illegible]國民總進軍の誓ひを新たにする次第である。

大東亞戰爭

捷報の又來ん軸を懸けさせよ　高濱虚子

椰子島に驕りたるものまづ撃たる　富安風生

戰勝の大いなる春を迎へける　水原秋櫻子

たゞ戰ひ拔かん
朝鮮總督 南次郎

南總督

總力の發揮を望む
朝鮮軍司令官 板垣征四郎

板垣軍司令官

東亞に築く新歷史
政務總監 大野緑一郎

大野總監

坂本司令長官

斷じて勝つ
鎭海警備府司令長官 坂本伊久左

殉國の決意新た
聯盟事務局總長 川岸文三郎

八紘一宇の大詔に基き、皇[illegible]

戰勝の春

年明けてさらにかゝよふ日の御旗すゝみゆくなる北に南に　板垣喜久子

大詔動いともかしこし天皇が蒼生の贈に徹りぬ　今井邦子

題畫　江口敬四郎氏

必勝の春に驕らず

朝鮮軍參謀長 高橋坦

民一億緊褌結束 大東亞戰の完遂へ 一人の落伍者も許さず

瑞雲大内山にたなびき、皇澤洽く宇内に光被し世界維新の新世紀第二年の歳旦を迎へ、萬物伸張躍動の象に自ら雄渾の氣宇内に胎動するを覺え、草むす屍提つては挺身奉公殉國の誠の彌がうへ堅さを誓ふものである。

詔を奉じ御稜威のもと陸海空第一線將兵はいまや必勝の信念に燃り、燃えさかり、頑敵米、英擊滅に疾風枯葉を卷くの堂々たる戰果を展張しあり、まさに東亞六億の肺肝に大いなる亞細亞の魂を呼び覺し拍車づけてくれるものがある。

ここにおいて盟主一億同胞は更に緊褌結束一致して、皇道宣布に苦難の突擊路を拓き、魑魅魍魎の陰を斷つの概を示さねばならぬ秋である。一億の心魂に底流する決意、翹望されるものは完き"必勝の信念"の不斷の涵養である。

高橋參謀長

第一線將兵が獲得しつゝある赫赫の戰捷の陰には血で綴る必勝の信念がしからしめてゐる事實を我我は識る。この由因するところの信念は何によつて培はれたであらうか。數多の素因のうちから自分は次の一例を擧げる。

米英 は過去一世紀に亘つて東亞に對する惡逆暴戾なる壓迫を加へて來た。支那事變の背景を構成してゐたのも彼等だ。聖戰遂行の第一線にあたつて居る皇軍の作戰を事毎に邪魔したのも彼等である。故に四歳に亘り大陸を血で染めた將兵は骨を削り肉をそいでも米英の命脈を斷たずんば大東亞新秩序建設の大業は完遂し得られぬことを肝に銘じ、血涙を絞り密かに機會の到來を期し臥薪嘗膽の明け暮れを迎へてゐたのである。

一度 び大詔を拜するや勇躍した陸海空は相呼應し艦艇の戰果を收め積年の鬱憤を拂拭し、いさゝかも進擊の手を緩めず席卷しつゝあるのである。この日のために皇軍が過去練りに練つた不撓不屈筆舌に盡きぬ勞苦研鑽と周到なる準備の秘められてゐることを我々は斷じて忘れてはならない。決して支那事變のための準備ではなかつた。豫想された南方新決戰場の敵然な戰鬪に備へ日露役以來四十歳に垂んとする間、猛訓練殊に最も困難と稱せられる敵前上陸を如何にして敢行するかの訓練に幾多尊い戰友の犧牲を捧げ來つたのである。

かく て陸の將兵はまさに世界最強の滿々たる鬪志と自信に溢れてゐた。しかして今次大東亞戰爭緒戰において無敵海軍の絶大なる協力を得て立體的縱横の活躍により驚異的戰果の擴張を見つゝあるのである。而して我々は必勝の信念は如何にして具體的に顯現するかの省察を忘れてはならぬ。我が將兵はこれを一言にしていひ盡せる。それは、魂とからだとを一つにして君國に捧げてゐることと、それである。敵前上陸の戰鬪にこの實例を見よう。

上陸 戰鬪は戰友の死を踏み越え乘り越えて猛進し後續部隊の血路を拓かねばならぬ。敵の抵抗は無比の防禦要塞に據つて必死頑強を極める。我が先頭將兵が決死して水際を確保して以後の戰鬪はまことに正視するに忍びがたい阿修羅血戰激烈を極めるのである。まことに君國に一身を捧げる烈々の愛國心なくては敢行し得るものではない。戰勝は斷じて易々たるものでなく、その背後に包藏されてゐる血の記錄を忘れてはならない。

翻つ て銃後を顧みる。戰勝に意氣大に揚り、愛國の熱情湧りあることはまことに同慶の至りである。しかし戰勝は尊い同胞の犧牲の賜物であり斷じて輕々に贏されたものでなく、しかも瞬間的なものでないことを忘れてくれるな。卅有餘年の血の努力がいま花と咲き實を結ばんとしつゝある緒戰である。戰爭はこれからだ。長期戰の準備と覺悟を固めねばならぬ。征旅異域に瘴癘を克服し、奮戰激鬪する陸海空の我が將兵は斷じて後退せぬ必勝の信念に火の玉と化してゐる。一億銃後の必勝の信念はいさゝかも恥かしからぬ固めが出來てゐるであらうか。前線將兵に相呼應し得る自信が肚に据つてゐるか―。

大東 亞共榮圈の資源は着々と我が手中に收められつゝある。長期戰移行も斷じて紀憂さるべきではない。寧ろ敵側は却て南洋資源のしめ出しを食うて逐次に困つて來ること必定である。故に我我は個人生活において君恩に報ずるの内省を怠らず、國の御楯となり、防衛戰士の覺悟を高揚して必勝の春に驕らず、進んでは一致結束大東亞戰爭の完遂に巨歩を踏み出さうではないか。

最後 に謂ふ。大東亞新秩序建設のため生を享けた我等の中大東亞戰爭に眞の戰士として働き働きと、奉公において萬一充分でない者があつたとしたら、それは皇民として誠に恥づべき次第であつて、將來大東亞共榮圈完成の曉において共に幸福と恩惠を受くる資格のないものであり、一人と雖もかやうな者があつてはならない次第である。必勝の春は前途の光明を示して居る、大東亞興隆の光は正に歴然たるものである。宜しく國を擧げて大東亞戰爭の戰士たるに恥ぢぬ働きをなすべきである。

凡ゆる困難を突破 大事業達成に邁進

大藏大臣 賀屋興宣

【東京電話】舊臘八日米英兩國に對し畏くも宣戰の大詔を發せらるるやわが精鋭なる皇軍は緒戰において早くも隨所に敵艦隊の主力を擊滅して世界史上未曾有の大戰果を擧げ爾來僅かに二旬餘に過ぎざるに敵の根據地香港はすでにわれに降りマレー、フイリッピンその他各地においても日本軍の向ふところ敵するところなきことは眞にこれ御稜威の下わが忠勇なる陸海軍將兵の力戰奮鬪の賜物でありここに衷心より尊敬と感謝の誠を捧げる次第である。惟ふに米英兩國の皇國に對する不當かつ執拗なる壓迫の歴史は決して近年にはじまつたものではない。彼等はわが自然的かつ平和的なる海外發展すらこれを妨げ來つたのみならず、殊に支那事變はじまつて以來は事每にわれわれに不利なる行動に出で蔣政權を援助して事變の解決を遲延せしめたのである。申すまでもなくわが大東亞共榮圈建設國策は

八紘爲宇皇謨 にもとづく肇國の理想に發するものであり皇國の存立を擁護し東亞諸住民をして各々その所を得せしめ以て世界恒久の平和を建設せんとするものに他ならない。しかるに米英兩國政府はこの崇高なる帝國の理想を理解せず、わが方の隱忍自重久しきに亘る平和實求の努力を無視し經濟封鎖と挑戰的戰備をもつてわれに臨み、遂に皇國の存立をも脅かすに至つたのである。ことここに至つてはわれわれは坐して國家の滅亡を待つ譯にはゆかぬ。皇國二千六百有餘年の光輝ある歷史を賭してわれわれは自衞のために正義の劍を執らざるを得ざるに至つたのである。敵は廣大なる領土と豐富なる經濟力とを誇りもつて世界制霸を豪語し來る英米兩國である。従つてこの戰爭が長期化することはもとより覺悟の前である。國民は必勝の信念を持し旺盛なる精神力をもつて今後如何なる困難があらうともあくまでそれに耐へていよいよ銃後の護りを固く前線の將兵とともに誓つて征戰の目的を貫徹せねばならないのである。

賀屋藏相

佛印進駐に伴ひ佛印に關する共同防衞の協定が成立し米英側諸國の合作により軍事的、政治的經濟的包圍態勢ならびに重慶政權その他の謀略行爲に對し共同して佛印を防衞することを約しまた今回泰國と攻守同盟を結びあらゆる政治的、經濟的および軍事的方法をもつて相互に支援すべきことを盟約した。しかしてフイリッピン、マレー半島その他の米英領地に對しては早くも皇軍が上陸進駐して着々戰果をあげてゐるのであつてこれらの地域はもちろん蘭印その他皇軍の武威に靡くの日も遠くはあるまい。

大東亞共榮圈 内の南方これら諸地域には豐富無限の資源を包藏してゐるのである。大東亞諸民族と手を携へてこれが開發に當り皇國を中心とする一大自給圈を形成することを得ば皇國の將來は泰山の安きにおかるべく東亞諸民族の前途の幸福繁榮また眞に刮目して待つべきものがあるといはねばならない。しかしてこれらの豐富なる資源も未開發のまゝ放置されてゐる部分が多く、またすでに開發せられたる資源にしても今直ちにその多くを利用し得ると期待する時は大なる遺憾を生ずる虞がある。

この大資源を開發しこれを基礎としてわが國防力の增強に資するためには今後莫大なる資金、資材、勞力および輸送力を必要とするのであつて前途に幾多の困難を伴ふべきはもとよりいふまでもあるまい。われわれはこれら資源を開發獲得し大東亞戰爭完遂に資するためには前途に橫たはるあらゆる困難障碍を突破し堅忍持久もつてこの大事業の達成に邁進するの覺悟がなければならないのである。戰ひは今開始せられたばかりである、われわれ

個人の生活は これを犧牲にしてもまづ戰ひに勝たなければならない。これがためにはわれわれは現在に幾層倍する努力をもつて勤勞に勵み生産能率を增進するとともに各自の消費生活を最低限度に切下げて眞に戰時下に相應しきものたらしめよつて生ずる一切の餘剩は擧げてこれを貯蓄に振り向けることがもつとも肝要である。國民貯蓄こそは國民の勤勞と物資資源とが戰爭のために集中せられたる結晶の現れであり、いよいよこれを增強してこそ大東亞戰爭の遂行および生産力の充實に伴ひ今後ますます增加すべく資材および資金の供給調達に遺憾なきを期し得るのである。

決勝之春 昭和十七年元旦 次郎

南總督試筆

支那事變勃發以來すでに四年有半を閲しその間わが國と滿洲國および中華民國との善隣友好の實は

着々と擧り 經濟提携はいよいよその緊密の度を增し來つたのであるが、今や更に大東亞共榮圈内の南方諸地域がわが陣に加はらんとしてゐるのである。すなはちさきには皇軍の

外交戰線は鐵壁

外務大臣 東郷茂德

【東京電話】こゝに昭和十七年を迎へて大東亞戰爭は第二年に入り帝國は御稜威のもとに東亞興隆の大事業に着々成功しつゝあり、皇軍の赫々たる武勳により西太平洋の米軍基地はことごとく粉碎され、また英國が多年支那における侵略政策の據點たりし香港は攻略され、さらに英が東洋侵略の中樞たりしシンガポールもその命旦夕に迫り東亞諸民族を搾取せる米英の勢力が東亞の天地より一掃せらるゝの日は遠からず、眞に東亞の黎明は近づきつゝある。

さき に帝國の對米英宣戰が行はれるや盟邦獨伊は三國同盟の厚誼にもとづき米國に對して宣戰し、對米英戰完遂を誓ひ、かつ世界新秩序の建設に對し戰後においても協力すべきことを約した。泰國との間にも攻守同盟が締結せられ、大東亞戰爭の目的貫徹のため共同戰線を結成するに至り、かくして大東亞戰爭を完遂すべき鐵壁の外交戰線が整備せられ、外に世界無比の皇軍の精鋭あり、うちに一億國民鐵石の團結あり、大東亞戰爭がいかなる長期にわたるともその目的の完遂を期し得べきは疑ひの餘地ない。およそ八紘を一宇とし各民族をして各々ところを得しむるはわが肇國の大精神であり、確固不動の國是で、今次の大東亞戰爭はまさにこの大理想を具現せんとする必然的なる過程である。

東郷外相

荒鷲・アルプス連峰を脚下に悠々飛翔（航空本部貸下）

日本は不敗の國

わが國民に寄せる新年の挨拶

獨宣傳相 ゲッベルス

【ベルリン卅一日同盟】日本軍の壓倒的勝利はドイツ全國民を沸立たせてゐるが、ゲッベルス宣傳相はこの獨國民の氣持を日本國民に傳へ盟邦としての喜びを頒つため特に日本記者團代表七名だけを宣傳省に招き『日本國民に對する新年の挨拶』を述べた、即ちまづ今度の日本軍快勝の結果、優秀な武器に滅私奉公の強い精神力が伴へば數字の打算では割切れない超人的な不思議な力が國民の間からほとばしり出るものだといふことを最近全歐洲は痛感した旨を強調し今までに數々の歷史的な戰果を誇つてゐる獨國民によつてもこの氣持は變りなく古今無比の日本國體の精華から出て來る精神力にはヒトラー總統やゲッベルス宣傳相自身も矢張り心から羨望してゐると前置し日本の強さの根源は皇室を中心と仰ぎ奉る國民的信仰にあり、かゝる國民は常に敗れることのない國民だと絶讚、左の如き挨拶を發表した

自分は今日は宣傳相としての役目から形式的な挨拶を述べるのではなく、衷心から偉大な快勝を搬ち得た日本軍および日本國民に對する感嘆の念を表明したいと思ふ、諸君は既に街上でも經驗したことゝ思ふが、日本の宣戰當初から獨國民の間には、日本に對する感嘆の念が沛然として起り日本に對する親善の情が充滿してゐることが明かに認められる、獨一般大衆は日本は『ドイツと同樣に』勇敢に戰爭を指導してゐると喜んでゐるが『ドイツと同樣に』といふ言葉はドイツ人としては外國に對する最大の賞讃なのである（註＝これはナチスの根本信條が獨逸人は凡ゆる點で世界最優秀の民族としてゐるからである）この言葉は決して同盟國關係だからなどといふ外交辭令ではなく本當に衷心からの歡びなのだ、そしてドイツ人が特に今度の戰果に關聯し感嘆に堪へないのは皇室を中心と仰ぐ宗敎的な日本の國民精神だ、即ち日本人の愛國心はこの宗敎的な信念と結びつき愛國心の發揮がこの國民的信仰の最高目標となつてゐるが、これが日本の不思議な力の源泉になつてゐるのだ、かゝる崇高な目標に固く結ばれた國民は不敗の國民であり、民主主義諸國の共同攻擊などは全く怖れるに足りない、若し自分がドイツ人でなく一介の國際人でまた別に地位のない無名の一市民であつたとしても今度の日本軍の華々しい戰果には唯々感激するのみであらう、自分は獨國民を代表し、盟邦日本國民に對し心からなる敬意を表し、更に歐洲、アジヤの新秩序の必ず確立することを絶對に疑はないことを確言して新年の御挨拶としたい

以上の挨拶に次ぎ、更にゲッベルス宣傳相は邦人記者團の質問に答へ、世界戰局の見透しに關して次のやうに述べた

われわれは卅年戰爭を口にしてゐる、われわれにはどんなに長く戰爭が續いても必ず勝てる準備と決意がある、早く終ればそれに越したことはないが戰爭を終らせるためには多年の宿弊を一掃し、根本的解決を圖ることが絶對先決條件だ、中途半端な解決で戰爭を終らせるならば將來再び不幸を繰返すやうになる、拳鬪でも解るやうに強いボクサーははじめからどうして勝たうなどと考へず、臨機應變一番よい機會に一擊を加へノックアウトするのだ、この試合が果して何回戰で終るか事前には云へないが、われわれの絶對的勝利に間違はない、また戰爭が太平洋に擴大し、戰場が擴がつたことは決して戰爭の長期化を意味するものではなく、寧ろこれを短縮したものと信ずる、なほ最後に『鐵は灼きうちに鍛へよ』との言葉は全般的な時局收拾に關聯し注意すべきことでなからうか

ゲ獨宣傳相

大東亞戰爭と半島經濟の新方向

かつて東洋の思想、東洋の科學は全世界を風靡して指導した西歐は異色ある東洋文化を吸收し一段の前進を遂げると共に次第に東漸し來り東洋は金權的財狼の飽なき搾取の舞台となつた、奪はれた東亞を如何にして取戾すか、我等の先覺者は常に論じ常に身を挺して闘を續けた、最近國民の總意がこれを期するや所謂米英勢力の包圍陣となつて現はれて來たのであるが支那事變勃發以來五年、去る十六年十二月八日、隱忍の網を切つて金權包圍陣に第一擊を加へるや否や永らく我國の先覺者が夢に描いた東亞再建の機運は到達した、我等は再び起ち上つた東亞が世界を指導すべき歷史的使命を深く認識するとゝもに大東亞建設の基礎をなす經濟的條件においてもその重き一環を占むる我半島の使命は依然兵站基地として、更に東亞經濟圈における產業基地として一段と重きを加へるに至つたことを痛感する、專ら經濟的意義において我朝鮮は東亞經濟圈において如何なる地位を占め、如何なる方針のもとに大東亞建設の歷史的使命に參加すべきであらうか……總てはいま進行中である、かゝる環境にあつて確たる見透しを得ることは困難であるが、然しながら個々の政策や批判や目前の問題の處理にのみ止まらず一貫してゆるぎなき方向を檢討することはあながち無駄ではあるまい

東亞の米英陣全く敗退
經濟自給圈の確立は目睫
將來は精密、重化學工業基地

先づ今次大戰の經濟的意義如何に南方資源の實情を把握して而る後に半島の進むべき道を檢討しよう

第一 に言ひ得ることはこの大戰によつて東亞經濟自給圈の確立が確實に見透しづけられるに至つた點に特に重大な意義があるといふことである、大戰の結果として確立さるべき大東亞共榮圈は資源の自給性において他の國域經濟圈に對しての何等の遜色がないばかりか寧ろ種々の點において優越せる强力なる經濟體制となり得るであらう、更に今日まで

米英 その他白人の獨占下にあつた南方資源の搾取ルートを一擧に遮斷して終つたことは所謂ABCD包圍陣の經濟的實力を半身不隨に陷らしめたことによつて相對的に大東亞の經濟的實力を壓倒的たらしめた點を强調さるべきである、卽ち、曩に確立された日滿支一體經濟の建設工作によつて東亞經濟の自給性は擴大されたといへ食糧においては泰及び佛印の米を要求しなければならず、石油、ゴム、錫などの工業用資源に就てもその通りであつた、然るに泰、佛印の共榮圈參加によつて最早米の東亞自給に問題はなくなつた、米は泰、佛印兩國だけで二千二百萬石餘の輸出餘力を持つてゐる、これに年額七百萬トンに達する世界最大の

米產 過剩地帶を形成してゐるビルマを望み見るに至つては米の問題は解消し得るといつて差支へない、更に水產食糧資源においても八百餘種の魚族が棲息する南洋多島海は我が國の從來の漁獲十數倍にさらに數倍を加へ得るのである、フイリツピン、蘭印の砂糖もまた東亞の食糧資源として重視せられる、更に工業資源に至つては、東亞の自給性は甚だしく高められると同時に米英その他の蒙る打擊は甚大なるものがある、先づ南洋ゴム生產量は英領マレーの卅八萬二千トンを筆頭に蘭印、佛印、泰を併せて年產九十六萬トンを示し世界產額の九十%を占めてゐる、これは從來米國の軍需產業、特に尨大な自動車工業を培養したものであるが東亞の重要資源として新たなる價値を發揮することになつた、戰車、飛行機、輕工業に必要な錫は英領マレー、蘭印、泰において九百九千餘トンを產し實に世界年產額の七十%を占めてゐる

石油 は蘭印の八百萬トン、ビルマの二百萬トン、英領ボルネオの百萬トンの現產額を以て需要を充分に充たし得る、その他鐵、石炭、マンガン、タングステン、ボーキサイト、クローム、ニツケルなどのバラエテイに富む鑛物資源の外油脂、麻等南方資源の東亞共榮圈への新たなる參加は自給經濟體制の確立を基礎づけてゐる、かくの如く南洋資源の東亞共榮圈に對する經濟的關係を素描し來るときわが半島が東亞自給經濟圈における主要な一環としての進路は次の如く要約し得るであらう

一、產業基地としての朝鮮 日滿支產業建設計畫要綱の策定に依つて滿支は粗工業及原料供給地と規定されたが更に南洋資源を之に加へ半島は之等の粗工業品に原料の供給に依る精密工業、重化學工業の第一線基地として之等原料及半製品に豐富なる電力と朝鮮獨特の資源とを結びつけて特殊なる性格を持つ科學朝鮮を築きあげ共榮圈建設の產業基地たらしめる

二、食糧基地としての朝鮮 支那事變發生以來重責を果し來つた食糧基地としての朝鮮の意義は將來共に重要性を倍加しつゝある、殊に戰時といはず平時といはず國民經濟力の根底をなすものは農村の經濟力にある、之がためには農業生產力の積極的增加によつて食糧經濟の確立を圖る以外にない、朝鮮としてはかゝる意味に於て新規增米計畫、米增產五ケ年計畫及び緊急食糧對策を確立し北方に對する最重要基地として內鮮食糧自給方針を一步進めて食糧の貯藏庫として、また限りなき源泉として農業組織を整へると共に農村勞力の合理的調整によつて共榮圈における人的資源の基地たらしめる必要がある

三、人的資源基地としての朝鮮 昭和十二年の調査によると內地在住半島人は七十三萬人、滿洲を初め共榮圈に進出せるもの八十萬人に及んでゐる、今日では更にその進出夥しきものあることを豫想出來るが勞力の供給源として果して來た半島の功績は蓋し大なるものがあらうことは推測に難くない、今次の大戰によつて生ずる共榮圈の擴大は更に人的資源基地としての朝鮮の使命を重大ならしめるに至つた、皇國が共榮圈のイニシアチーブを取る使命を擔ふときこの點は特に重視されなければならない、產業技能者として、勞力供給者として、或ひは指導分子として、半島人の共榮圈への進出が要請されるとゝもに人的資源の源泉たる半島農村を見るとき勞力不足が云々されるにも拘らず農繁期と農閑期との需給關係が甚だしく隔絕してゐるため勞力は徒らに半眠的狀態に放置されてゐる實情にある、農村勞力の合理的調節による人的資源の共榮圈への供給と各種產業技能者の養成とは特に努力されなければなるまい

以下各項目に就て檢討を試ることにする

電力の餘裕綽々
共榮圈は原料供給地

東亞共榮圈における第一線工業基地としての朝鮮の特殊使命は豐富な電源の開發によつて勃興を見た

電氣 事業の傾向を辿るに去る昭和四年十一月朝窒の手によつて赴戰江水力が開發せられ世界有數の大窒素肥料工場の出現を皮切りに昭和六年各地に分立する電氣事業の統制方策が確立され爾來西鮮、南鮮、北鮮の大合同が夫々實現し朝鮮水力及び鴨綠火力の開發と十五萬四千ボルト級送電線路の建設に依つて昭和十二年には朝鮮を南北に區分する二大送電系統の完成を見、北鮮地方では一大電氣化學工業地帶が出現するに至つたが引續き黃水院江、江界及び漢江の電源開始が進められた、特に昨年世紀の偉業として鴨綠江水電の發電を見たことは從來

北鮮 に偏した重、化學工業の西鮮における發展を約束するものであり、更に將來電力の飛躍的增加を豫想される今日朝鮮の重、化學工業の前途は赫々たるものがある、一方鑛山資源の豐富さを推定鑛量で大別すると

一、鑛量豐富なもの 金鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、タングステン鑛、マグネサイト、耐火粘土、頁岩、螢石、雲母、石灰石、硅砂、黑鉛、無煙炭

二、鑛量稍豐富なもの 鉛鑛、水鉛鑛、銀鑛、硫化鐵鑛、石綿、滑石、タンタラム鑛、褐炭、燐石、セール石、有煙炭

三、鑛量乏しきもの 硫化鑛、水銀鑛、錫鑛、安質母尼鑛、コバルト鑛、ニツケル鑛、砒鑛と見られ、大部分は內地に乏しいか或は全然賦存せぬものが多い、これ等の地下資源と南洋資源の錫、ボーキサイト、クローム、鐵鑛等と朝鮮電力と結合せしむれば朝鮮獨特の性格を持つた輕金屬工業、特殊製鋼業發達の素地を十二分に持ち合はしてゐる、また燐灰石、尿素石灰等を原料とする電氣化學工業の發展は既に北鮮地帶に於て輝かしい業績を示してゐるが無煙炭、褐炭、カーバイト資源と南方植物油脂、ゴム、石油と朝鮮電力に依り合成化學工業發達を期待し得る

またこれ等を原料とする精密機械工業の一段の進步を豫斷し得るの外にリシウム、ベリリウム、セリウム、ニオビウム、ジュルコニウム、ヴアナジウム、硼素といつた稀有元素鑛物の發見も引續き行はれてゐる

原料 として期待されるものである、また中南鮮の纖維工業は南方のマニラ麻その他硬質纖維を原料となし得る可能性を持つてゐる、而して半島工業界の最近の足跡もまた此の方向の正しさを示してゐる、卽ち朝鮮各種產業生產高を昭和十一年と十二年の比較において見るとき次表の如く工產物の著るしき飛躍を見ることが出來る（單位百萬圓）

	十一年	十二年
農產物	一、一五一	一、四九二
畜產物	五八	八四
林產物	一一八	一六七
水產物	一六四	一九〇
鑛山物	一一〇	―
工產物	七三〇	一、一四二

なほ工業生產の傾向を見るに昭和十二年度の統計によれば左表の如く化學工業は全產額の三一・八%を占めてゐる、食糧はその大半を家內工業によつてゐるので近代的工業としては化學工業が壓倒的な優位を示してゐる（單位千圓）

	生產額	割合(%)
總額	九五九、三〇八	一〇〇
紡織工業	一四一、一五四	一四・七
金屬工業	五〇、七六六	五・三
機械器具	一六、五六五	一・七
窯業	二五、〇七二	二・六
化學工業	三〇四、九四八	三一・八
製材及木製品工業	一一、七三七	一・二
印刷、製本	一六、二〇四	一・七
食料品工業	二三六、〇三三	二四・八
瓦斯及電氣	四〇、〇七六	四・二
その他	一二四、六五三	一三・〇

右表のうち金屬、並に機械工業は朝鮮において新業の創立が十二年以後に多く日常時建設に着手せるものが多い實情から見て化學工業とゝもにそのパーセンテージは可成りの

飛躍 を見せてゐるものと推測される、かくの如く半島の電力と特殊資源と南洋資源との結合によつて產業基地朝鮮の將來の特殊性格は食糧基地としての特徵と相俟つて一層把握し得るのであらう、しかしこの性格は東亞共榮圈における半島の南北に對する兵站基地としての方向をも示してゐるものである

北方及び南方に對する兵站基地としての食糧の確保と貯藏にあると見られる、之が爲には農產物及び水產、畜產物の加工と貯藏方法の研究が將來要請されることゝなるであらう、幸ひ朝鮮における食糧品工業は全工業生產額の三十%前

內地への食糧供給
半島の責任は重大
征戰完遂へ協力の秋

聖戰既に五年、食糧基地として朝鮮の果して來た役割は大きいが大東亞戰爭の完遂を期する爲には數倉半島の使命は更に重大化した、佛印、泰の共榮圈への參加によつてその米を期待し得るとしても戰時下における船舶の不足、諸種の障碍による輸送難を考慮するとき數倉半島はその責任において內鮮食糧自給の使命を達成しなければならぬ、その意味において總督府では新規增米十ケ年計畫によつて一千百萬石の增米を期し十年後には三千五百萬石の米を確保せんとすると共に、米增產五ケ年計畫を樹立し五百六十萬石の增收を圖り基本收穫高千二百九十萬石と合せて五年後には一千八百五十萬石の生產を得べく十六年度より實施に移つてゐる

かくして內鮮食糧經濟の確保を期すると共に緊急食糧對策を確立し大東亞戰完遂の食糧政策に遺憾なからしめんとする方針であるが、之こそ大東亞建設に對する半島の最大義務である、自給强化方策としては大規模の土地改良事業に依る農耕地の開發生產技術の綜合動員に依る耕種法の改善、農地の交換分合、或は有畜農業と副業獎勵に依る營農規模の適正化、自作農創定又は小作制度の改善による土地制度の確立等應急的施策を講ずる必要がある、特に緊要なる問題は消費節約と農業勞務の調整である、殊に後者は朝鮮農村の實情に照して深甚なる考慮を要するものである、農繁期と農閑期の間の需給關係の隔絕による勞力の跛行を是正するとゝもに婦女子の遊休勞力を動員結集し高度の生產性を持ち得るならば肥料の不足、又は農業機具の入手難も補足し得てなほ更に進んで時局產業、或は共榮圈への人的資源基地としての使命を果し得るのである、之がためには部落聯盟、或ひは殖產契を動員し農村協同體の强力なる組織によつて勞力の合理的調整を圖る外はない

かゝる當面の問題以外にも食糧經濟の確立は戰時、平時を問はず東亞共榮圈の根幹をなすもので食糧基地朝鮮として將來とるべき道は之等の技術、經驗、設備を活用して穀物を初め甘藷、馬鈴薯等の畑作物及び果樹蔬菜の加工、鰮、鯖、淺海漁獲物等の水產物及び畜產物の加工貯藏の方針を確立し食糧倉庫たると同時に共榮圈に對する高級食糧、嗜好品の供給地たる方面を取り得るであらう

半島人勞働者は
生擴に不可缺
第一線の活躍に期待

內地在留半島人に關する統一的な調査は判然しないが各種の資料を綜合するに

現在 百萬人を突破してゐると見られる、而してその職業は土建勞働者、工業勞働者、鑛山勞働者、仲仕業が大部分を占めてゐる、一方在滿半島人數も少くとも百廿萬に及ぶものと見られるがその五割は農業に從事してゐる、これから見ても朝鮮が人的資源基地として如何に重要なる役割を果してゐたかゞ窺ひ知れる、特に滿洲における水田の開發、內地における勞力供給の實情は戰時生產擴充に不可缺の條件であつた、一方人口增加狀況を見るに併合の明治四十三年に半島人數一千三百十二萬八千七百八十人であつたものが二十七年後の昭和十二年には二千二百六十八萬二千八百五十五人となつてをり、二十七年間に八百五十五萬人の自然增加を示してゐる、卽ち年々三十餘萬人の自然增加と言ふことになる、これは當時の國勢調査の不備もあり、之をもつて直ちに論ずることは出來ないが相當の增加率を示してゐることは窺ひ知られる

かくの如く見て來ると朝鮮の人的資源基地としての

價値 は甚だ重視されなければならない、殊に東亞共榮圈の建設に對する意義は大きい、內地、滿洲のみならず、擴大された共榮圈の建設に當つて生產力擴充の勞力資源たるに止まらず所謂產業技能者として、また指導分子として、また建設者、開拓者として共榮圈の隅々まで進出し大東亞再建の第一線戰士としての活躍を期待し得るのである、この意味に於て半島人口の職業別割合を見るに農業が全人口の約七十五%を占めてゐる、農村こそは人的資源の供給源泉である、然るが故に農業勞働における農業勞務の需給關係を合理的に調整して

餘力 を時局產業及び內地、滿洲その他共榮圈の建設に振り向ける努力を要するのであるが一方技能者及び指導者の養成に積極的努力を傾けるとゝもに人口增殖に更に一段の創意と工夫を凝らさなければならない

鮮銀券膨脹
七億五千四百萬圓

年末金融は極めて繁忙を極め廿九日に繰越された鮮銀券發行は七億五千四百四萬六千圓と前日に比し二百五十八萬五千圓の增發を示し鮮銀創業以來の最高記錄を更新、これを前年同日に比較すれば實に一億六千萬圓の增加を示した、かく膨脹したのは各官廳會社の年末賞與および俸給の放出米穀資金の貸出等によるものであるが、放出一巡後は預金その他政府資金の回收によつて三十日に繰越された帳尻は早くも收縮步調に轉じ二百八十三萬七千圓減少の七億五千百二十萬九千圓となつた、越年後の金融はどうかといふに一月は季節的にみて大體閑散な月であり、政府當局において資金回收操作に萬全を期してゐるので順調なる收縮が豫想される

經濟の完勝體制
朝鮮銀行總裁 松原純一

聖戰下の決戰下、皇紀二千六百二年の新春を迎ふ、茲に皇軍の赫々たる武勳を讃へ奉ると共に、營々たる武勳を樹てつゝある陸海將兵各位に滿腔の感謝を捧ぐるものである

帝國は東亞における久しきに亘る禍根を芟除し、その恒久の平和と光榮の爲に帝國は昨年十二月八日遂に蹶然起つて大東亞の征戰を進むるに至つたが、畏くも宣戰の大詔を拜して洵に恐懼感激に堪へない

皇軍 の戰果はその緖戰において早くも世界戰史上未曾有の大捷を博しその作戰の至妙その精神の雄渾實に古今に絕し旣に敵を制壓するの槪がある

然も我等は當面に全國民の覺悟を新たにし、只管一億國民、心を一にし職域奉公の誠を盡すべきである

顧みるに昨年の內外推移は、東亞においては帝國の東亞安定の平和的努力、歐洲にあつては樞軸勢力の擴大を中心に展開され、その何れも世界新秩序建設の過程たるものにして、これに伴ふ我國內體制諸般の整備は、今次國際情勢に順應せんとする高度國防國家建設の努力に外ならない。蓋し昨年における泰佛印間紛爭解決に對する帝國の斡旋、日蘭印交涉、日佛印經濟協定の成立、日ソ中立條約及び日ソ通商協定の妥結、北部佛印の平和的進駐等の事柄は、帝國がよく東亞全局の安定に資した證左であり、かつ隱忍自重日米國交調整を持續したるも亦、支那事變の完遂を目的に太平洋の平和維持を顧念したるに外ならない、然るに米英の態度は之に酬ゆるに資產凍結による經濟封鎖を以てし剩へ我國包圍の武力陣を形成して挑戰し、東亞の天地を永久にその支配の覊絆下に置かんとするものであつた、されば帝國は外に

平和 を翼念しつゝも內に軍備の擴充、生產力の增强を期し國家政局の轉換に孜々として備ふる所あり、これが具現の方法として國家總動員法の全面的發動による經濟新體制の實踐と統制の强化とが期せられた、歐洲における樞軸勢力の動向は、戰火バルカンに擴大しその餘勢は近東方面に及ばんとする形勢にありたるも、六月下旬突如獨ソ戰爭の勃發となり、歐洲戰局は米國の英ソ援助と相俟ち眞に世界戰爭の樣相を呈するに至りその餘波として我國の對歐唯一の通商路は切斷せらるゝのやむなきに陷り茲に我國內經濟は自給自足體制を愈よ喫緊とするに至つた

かくて昨年の國內經濟動向は遂に決戰體制を强化する方向に進み殊に米英の資產凍結後においては新事態に即應する物資、資金、勞務、輸送の改訂動員計畫着々實施せらるゝと共に、國家總動員法の全面的發動により

海運 及び電力の國家管理をはじめ、各種經濟統制は愈よ强化せられ、就中重要產業團體令の施行による各種統制令の成立とその活動及び年末實施された企業許可令、物資統制令等は、我經濟機構及びその運行上劃期的轉換を意味し、更に食糧緊急對策の確立を見るあり

戰時經濟 陣營は完全なる編成を完了した、之等に伴ひ生產活動は依然たる資材難を原因に期待の如くならず、擴大再生產は殆ど緩慢にして從つて企業經營は窮屈を免れず、この事象は重點主義の徹底と企業合理化とを必然とすべく、その餘波は株式界に及び株價は年初以來不味を呈せしが日本協同證券の成立と其の買出動により低落を緩和し對英米戰爭開始により活況を呈するに至つたが之は單に人氣の昂したるものに非ず、今後戰局の進展に伴ふ共榮圈物資の利活用と之による資材難の解消、企業成績の向上期待に負ふ理由を有つものとも觀られる、物價は價格公定の擴大により年間微騰に止りしが主要物資に對する補助金政策に依存すること多大なるは注目を要する

配給統制 はその機構整備成り生活必需物資の配給は確保せられ、國民生活に大なる安全感を與へつゝあるは慶賀すべく、又、昨年中最も注目せられたる陸海の輸送は、之が統制面に及びしも輸配給の徹底は逐次强化せられ、その影響各方面の隘路を緩和するに資した、金融界は貯蓄獎勵奏功し資金集積順調にして、資金供給に於ては共同融資團の成立と相俟ち時局產業方策要綱確立せられ、金融統制が本格化しつゝあるは指摘するに足るものである、要之、昨年の經濟界は年初來次決戰體制の確立に邁進し、戰爭開始に呼應して完勝體制に移行したと謂ひ得る

朝鮮 においても內地同樣に國家總動員法の全面的發動を見、決戰體制は年紀以來機構に將亦運用に顯現し來つたが、統治機構の特異性は官民一體を理想的に實現し、これを推進力に戰時經濟の運行は凡ゆる惡條件を克服し豫期以上の成果を收めたるは特筆すべきである、機構の面における改革は、總督府行政機構の改編を首め貿易統制機構、石油販賣統制機構、鑛業統制機構の樹立、沿岸航運業者の統合等枚擧に遑あらず、加之、企業合同は中小商工業のみならず鑛業及び纖維工業等の大企業にも及んだ、かくの如きは生產に配給に重點主義が徹底しつゝある證左である

生產活動 は資材難の桎梏を脫し得ざるも、業者の工夫と創意とは新設工場の操業開始と相俟つて生產の增大を促進し、國民生活物資は內地依存を低下したる間に於てその需給の極めて圓滑なるは指摘するに足り、他面物資の鮮外への供給にも見るべきものがあり、就中、帝國の穀倉としての實力を發揮しつゝあることは戰時食糧確保に貢獻する所多大にして、而も大陸前進基地として朝鮮の經濟地位の向上を語るものである、金融界は共同融資團の成立、銀行合同の促進、低金利の實行等は時局即應の適切措置と謂ふべきも唯憾むらくは貯蓄獎勵の成績は內地に比較して稍ゝ劣りしから一般の奮起を望んで已まない、更に昨年中特記すべきものとしては、世紀の偉業として鴨綠江水電の發電あり今後その鮮滿兩地生產力擴充に資すること大なるものあるべく、待望の平元線全通し交通運輸上に新紀元を劃したるものといふべく、經濟上の地位と共に朝鮮の資質は逐年向上しつゝあるは同慶の至りである

大陸各地 昨年中の經濟動向は滿洲及び各地を通し物價高の苦惱は深刻なるものありしが產業開發の進展と統制經濟の計畫化に伴ふ統制機構の整備及び物價對策の進行は漸次統制經濟の安定を齎し、共榮圈經濟の一環として本邦經濟と緊密なる關聯の下に決戰體制を充實するに至つた、而して日滿支產業建設計畫要綱の策定あり、滿支は粗工業及び原料供給地と規定されたが、滿洲に於ては重點產業を基礎產業に轉換し以て資材難に對處すると共に使命の完遂に努むる所あり、支那に於ては重慶政權との間に物資及び通貨の經濟戰を遂行しつゝ、資源の開發、農村の復興に見るべきものあり、國民政府の政治的地位の向上と相俟ち、明朗新支那の建設は着々と行はれてゐる

かくの如く昨年における本邦及び大陸各地の經濟推移は、惡條件を排除して、生產力の增强、國民生活の安定を確保し、高度國防國家體制の完成を期したのであつた、歷史的決戰第二年の今年は、我等經濟人は經濟運行上昨年に劣らぬ苦難を豫想し、これに備ふる創意と覺悟とをもつべきは勿論、大東亞戰爭は經濟戰においても勝ち拔かざるべからざる

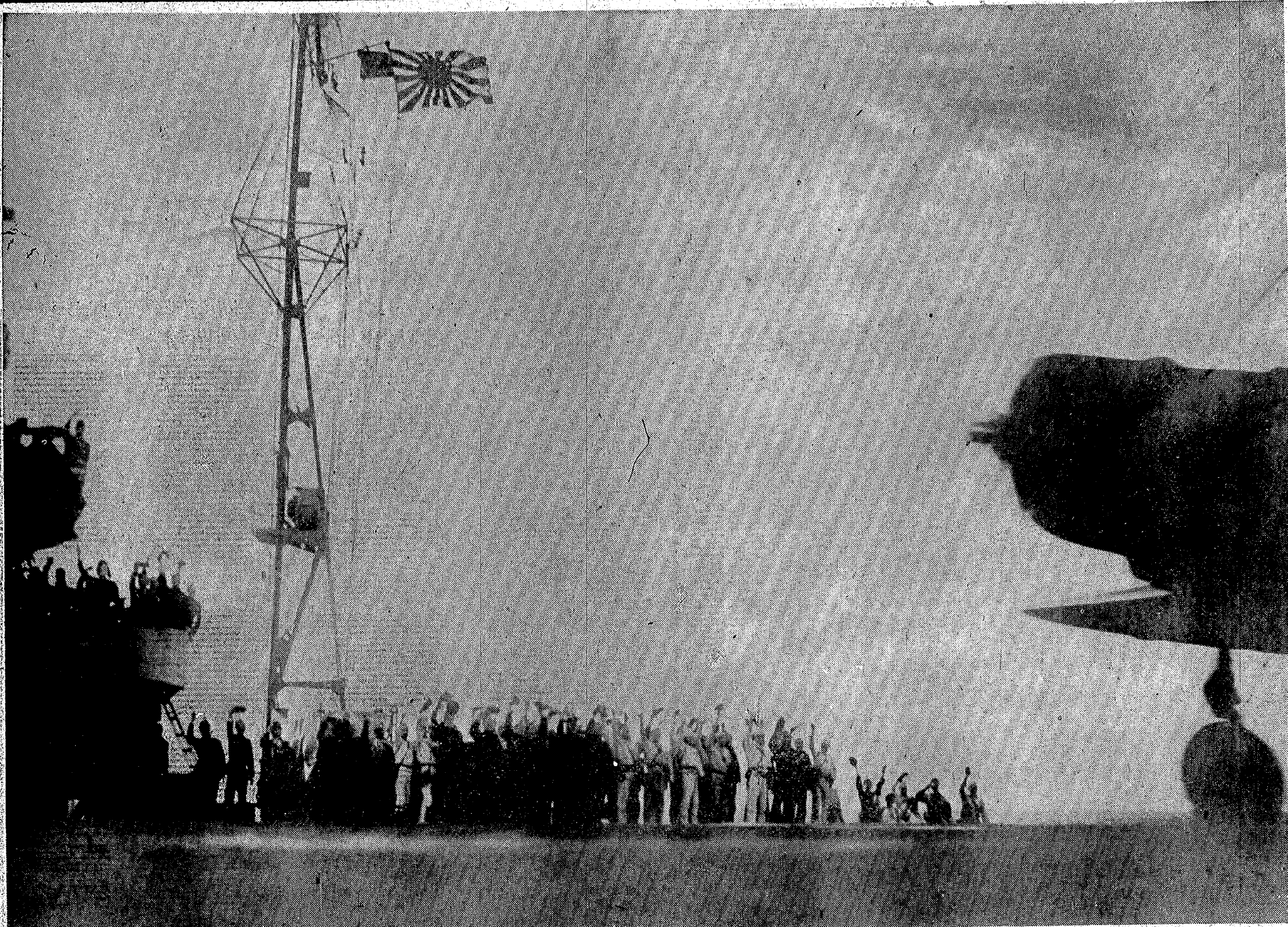
信念 を愈よ鞏固にし銃後に戰陣に敢闘することなく、前途に雄大なる希望と期待を有ちつゝ大東亞共榮圈の確立に挺身協力すべく、この征戰目的完遂に物心を捧げ、以て皇恩に酬い奉るべきである

壯絶！ハワイ大爆襲の實況

（海軍省提供）

この寫眞は神棚に供へ戰勝の記念として保存して下さい。

【上】我が必殺の猛爆下に哀れ惨主力艦隊＝海軍省提供＝【下】黒煙あげせんとするホイラー陸軍飛行場＝海軍省提供＝【左上】山本聯合艦隊司

決死的布哇奇襲の壯途につく、爆音高く太平洋の曉闇を衝いてまさに飛翔せんとする僚機に感激の涙に濡れて萬歳を絶叫する○○艦上 ―海軍省提供―

布哇海戰劈頭覆滅の寸前にある米太平洋艦隊 ―海軍省提供―

眞珠灣軍港フオード島周邊に葬り去られんとしつゝある敵艦船及施設 ―海軍省提供―

文化

雄大なる構想

大東亞戰爭と半島文化人の新使命

辛島驍

田中咄哉州氏筆

香港が陥落してからもう幾日かになるが、私が氣にしてゐる消息は未だいつかうに新聞に載らない。何を氣にしてをるかといふに香港に在つた支那側の映畫製作所がどうなつたかといふことである。

映畫會社の一つや二つがどうしてさう氣になるのかといふ人は、香港のもつてゐた文化的な敵性をほんたうに理解してゐない人である。香港の敵性は、普通に知られてゐるやうな傳田した部分にのみあつたのではなく、極めて隱微な間にその魔手を伸ばしてゐたのであつて、支那人經營の映畫製作會社の如きもその恐るべき役割を果してゐたのである。

曾て此處には『南洋』『南粤』『大觀』等の支那映畫製作會社があり『港星聯合公司』などといふものがあつた。このうち『南洋公司』は香港第一の生産高をもち、南洋方面に三千餘の直營館を擁してゐた。『南粤公司』は、主力を在フイリッピン華僑に注いでゐたが、安南語のトーキーの製作にも先鞭をつけてゐた。『港星聯合公司』は讀んで字の如く香港製作の映畫をシンガポール等に頒布することを目的とした會社であつた。蔣政權が重慶に逃避し廣東が陥落した後にあて、これらの映畫會社が抗日宣傳を織込んだ映畫は南洋各地に配給されて華僑や安南、馬來人の前に堂々と昨日まで上映されその中には、重慶や昆明で撮影され、香港で編輯された蔣政府宣傳部直接製作の抗戰映畫さへも交へられてゐたのである。

私が、香港陥落の報と共に、映畫會社の消息を氣にしてゐるのはこのやうなわけからである。今後これらの映畫製作所はどのやうな道を辿つてゆくであらうか。勿論その方向は厳として已に決つてゐる。然し實際の問題として我々はそれをどのやうに指導し再建し再出發せしめて行つたらよいか。

對米英宣戰より一月位前だつたと記憶するが、わが國際文化協會は、佛印、タイ方面に數種の文化映畫と劇映畫『支那の夜』を送つて大いに兩地の住民の日本に對する認識を深めることに役立てようとしたのであつたが、これから後この程度の心構へでフイリッピンマレーを含めた南洋各地に卅餘箇の直營館を持つてゐた重慶米英合作の映畫配給網もそれに代つてどれ程の効果を擧げ得るであらうか。日本の勢力が及ぶやうになつてから、映畫がつまらなくなつたとあつては、東亞の指導者としての日本の文化的面目にかゝはらう。どんなことがあつても我々は香港の敵性映畫會社が製作してゐた數量以上の映畫を製作して、戰禍に疲れた住民を慰撫しこれに大東亞戰爭の意義と日本の眞精神、眞の姿を一日も早く知らしめなければならないし、かつさうして持ち込まれてゆく映畫はひとり消極的に娯樂であるばかりでなく、積極的にも敵性映畫よりも更に一段と優秀なものでなければならないのである。

此處において香港の映畫事業の建直しの問題と共に、我が國映畫界全般の今後の任務たるや、實に重大となるわけである。そしてこの重大なる任務の一端は、また實にわが半島映畫界の當然負擔しなければならぬものである。これに對して半島映畫界の準備はよいのか。大東亞的規模の企畫を樹立する心構へが出來てゐるかどうか。今は已に朝鮮の人達にのみ見せる映畫を作るべき時代ではなくなつた。われ〳〵の映畫の觀客は全東亞人でなければならなくなつたのである。

私は映畫のことについてのみ語つて來た。然し私はひとり映畫についてのみいはうとしてゐるのではない。この朝鮮のあらゆる藝術が、すべての文化が、この映畫と同じやうに今や新しい使命を與へられ、新しい出發を要請されてゐることを、先づ映畫に關して指摘したものである。

曾て京城の革新的牧師さん達の集會に臨んだ時、私は次のやうに語つたことがある。支那大陸には多數の英米人の宣教師がキリストの教へを說いたが、彼等の或者は宗教家の假面の下に敵性行爲をしたが故に退散された。後に殘された支那の善良なる『迷へる小羊』は今や新たなる牧師を求めてはゐまいか。魂の救ひ主を求めてゐる。この時わが半島の牧師は、ありし日のやうに單に半島民族をのみ對象としてその體質をつくしてゐては相なるまい。眞の『愛』があるならば、手を更に大陸の迷へる者にも差出すべきではなからうか。半島キリスト教の再出發は、新しい秩序と構想のもとに用意されるべきである。私は今、對米英開戰の今日において、ます〳〵そのことの必要を思はないではゐられないのである。

また私は或る音樂家に次のやうに語つた。アメリカ系の音樂が驅逐された後に、眞の大東亞の音樂が創作されなければならないが、國家は容易としても建設を誰がするのであらうか。而もその建設は棄て去つたものよりも、より以上の優れたものを產み出すことでなければならない。獨りよがりの新大東亞音樂では却て物笑ひとならう。支那人も馬來人もフイリッピン人も印度人もそれによつて蹶起する音樂を創まなければならない。半島の樂壇人の任務も亦重くかつ輝かしいではないかと。

文學に就ても亦、喊んだ。小さく半島の心を抱きしめて回顧と愛着の固陋な感情に沈潜してゐる時代は過ぎた。支那人に、安南人に馬來人にフイリッピン人に、讀ませて、これこそ大東亞の文學であると歎服させ、それによつて日本の眞精神を心から理解させるやうな文學を生産しなければならない時機に至つた。讀者を三千里の內に求めた時代は過去である。今は六千粁、一萬粁の彼方に求むべき時代が來てゐるのである。

然し、この雄大なる新文化圏の構想も、たゞ單に空想の眼を遠く馳せるのみでは、海上一片の蜃氣樓の如く、やがて空漠として瞭りにも忘れ消え去るであらう。この構想をして眞實の光芒を放はしめるには、眼光を遠く雲際に馳することによつて、來るべき文化の性格を明瞭にすると共に、讀つて自己の脚下を照顧して、確かなる空想に貴重なる時間を消費することなく、新しき大時代の指導者日本人としての教養を深め心性の陶冶に懸命努力すると共に、自己職責の文化に對する熾烈なる責任感を堅持しなければならないので解りきつたことだが、家を構築するだけでは家が建たないやうに、六千粁外の讀者を想像しただけで作品集が世に出るものではないのである。半島文化人の眞實の藝術と用意はよいのであらうか。

私はたゞ文學に就てのみいはう今日の文學の目標は、大東亞共榮圏內の諸住人に見せて、その何人をも魂の底から新東亞の建設に邁進する勇氣と自信を起さしむる民のものでなければならないのであるが、そのやうな文學は、一口にいつて只、地名にアジヤの各地をもつて來たり、單に異國土俗を描いたり、やたらに建設的概念人にスローガンを叫ばせたり、そんな娯樂的な技術では決して產み出すことの出來ないもので、やはり眞正直に文學の本道を勵精恪勤するところから出發するのでなければならないと思ふ。言葉をかへていへば、ハワイ海戰やクワンタン沖海戰のニュースに胸をどらせつつも、同じ時に滿洲、北支の山野に臘月の下凜烈たる寒風の中に毅然と立ち盡す歩哨の勞苦の姿を想ひうかべるだけの心構へから出發するものでなければならないと思ふのである。シンガポールやマニラを舞臺に空想の小說を書くことよりもこの戰時下の生活をどんなに一國民が一家庭が堪へつゝあるか。その人々が國家と共にどんなに惱んで生きつゝあるか。その强く逞しい鍛い姿を描き示すことの方が、遙に今日の文學者の進むべき途であらう。新東亞の文學は、天上から突如として降りて來るものではなく、そのやうな極めてぢみな道からこそ生れて來るもので、さうしてはじめて大きな發展を全東亞に與へ得るのである。このことは、半島の人達にのみ見せる映畫の時代は去つたといふ前言葉と一見矛盾するやうに考へられるかも知れないが、決してさうではない。

新文化建設の構想はすべからく雄大なるべし。而してその建設の第一步は各個の眞摯なる自己建設から出發する。自己に對する檢討と反省を持たぬ前進は、砂上に樓閣を築くに等しい。眞にこの時代の日本人としての自覺に目覺め、大東亞文化建設の戰士としての教養を固めることこそ、今半島文化人のあるべき唯一無二の態度でなければならない。

文化だより

◇初笑ひ漫畫の展覽會　朝鮮漫畫人協會主催、一月六日から十一日まで三越五階第一畫廊で開催同人の作品約八十點に及ぶ

不連續線

年頭の理

年をとると、どうも理窟っぽくなって、いふことが一々理に落ちて來ることは、自分でもわかるのだが、さて、どうとも致し難い。

若い頃、大いに酒を飮んでゐた時分には、酒をやめれば、貯金が出來るかとも思つて見たが、必ずしもさうは行かなかつた。しかし、さう行かないからといつて、酒をやめなければ、なほ更に金などは殘らない。

ところが、やはり時勢と年齢で一無茶酒を飮まなくなつた代りに、一應は貯金といふことも考へるやうになつて來てゐる。

また、話が理に落ちたが、この理だけは恥かしいとも思はない。

本社懸賞勅題寫眞「連峰雲」推薦　萩尾伸吉

赤ん坊戰爭

今度の戰爭でも暴露した　樞軸國對自由主義國

戰なる『わが子』といふ個人主義的、自由主義的思想から脫却して、それが『國家の子供』であり大切な國防資源であることを、時局認識の上にハッキリさせる必要から、わが國ではすでに『產めよ、殖やせよ』のスローガンのもとに、さま〴〵の人的資源確保の手段方法が講ぜられてゐる

ドイツやイタリーでは夙くからヒトラーやムッソリーニの音頭で、多產運動が行はれてゐたが、フランス崩潰の一因が、誤れる人口政策にあつたことも、周知の事實である、そして今、一面において人的資源の戰爭であることが英米の民主主義國にも漸く認められ『赤ん坊の戰爭』といつたやうな問題が、頻りと論議されてゐるのだ

現にドイツでは一九三八年發布した法律により男女いづれたるを問はず、結婚後に生殖力のないことが證明された場合、若くは正當の理由なくして、子を儲けることを肯んぜぬ場合、結婚を解消し得るのである

一九一八年、歐洲大戰が終熄しドイツにとつてみじめな休戰條約が成立した直後、人口增加率の減退は、ドイツにおいて著るしい傾向と見られた、當時、產兒制限を主張する輩は十五を數ふるほどであつたが、ナチスが政權を獲得すると同時に、それらの運動は厳禁され、それと反對に、政府が率先して多產運動に乘出した、そしてその成績は、文字通り顯著なものがあつたのである

ヒトラーが政權を獲得した一九三三年ドイツの出產率は〇・七九八、一方イングランド及びウエルスは〇・七三八であつた然るにドイツのそれは一九三六年に至つて〇・九三四に上騰しこれに反して英國は〇・七七三を維持したに過ぎず、しかも英國の出產率は、その後引續き減退の一途をたどるのみであつた

今日の英國において、子福山は貧乏人階級に多く、富豪および知識階級では、子供の多いことを欣ばない傾向がある、さうした傾向は英米共通で、今までのところ、多產運動といふやうなことは全然念頭に置いてゐなかつたのだ、否むしろ之らの民主々義國では、貧乏人の子福山を輕蔑するやうな方針が採られてゐたのである

自由主義および個人主義を基調とする英米では、人的資源の獲得において、所謂樞軸諸國の敵ではない、しかし戰爭が人的資源に負ふところ甚だ大であることを想ふとき、拱手してその成行きに任せていいであらうか、といつた問題が近ごろ頻に論議されて來たのも興味がある

亞細亞の春

吉井勇

堪へ堪へし胸の怒りもいま晴れてすがすがしもよ大き年立つ
新としもいとど明るし勝ちつづく大き亞細亞の戰ばなしに
ひむがしの大き海越えひびき來る勝鬨とともに新としは來ぬ
あきつ神わが大君の大御稜威亞細亞を照らす天明りかも
勝たむ勝たむかならず勝たむかく言ふをわが年祝ぎの言葉とぞする
昭南島に日の丸の旗ひるがへるさまを今年の初夢に見む
胸をどる十億こぞり年を祝ぐ亞細亞の春も近しと思へば

“望樓の決死隊”

東寶、高麗提携作品

かねて東寶映畫が高麗映畫と提携し共同企畫中にあつた朝鮮國境警備隊を主題とする劇映畫の製作がこのほど具體化し、題名も『望樓の決死隊』と決定した

この映畫は不逞の徒の蠢動する國境僻地に常駐し嚴寒、炎暑等のあらゆる困難と闘ひ治安維持のため日夜を分たず死力を賭する警備隊を扱ひその間に內鮮一體の境地と總力發揮の精神を描き出さんとするもので、東寶映畫としては、これを同社の昭和十七年第一期三大作品の一とし製作費六十萬圓を計上、規模、構想、企畫、演出に於て名實共に大作たらしめんとしてゐる

主なる出演者は東寶側大日方傳、原節子、高麗側金信哉等であるが、一月十日頃に製作部門擔當の富の數氏が來鮮し、現地踏査を行ひ、二月末の脚本完成を待つて三月早々撮影に着手、全完成豫定は六月で、その以前に井上正夫一座が上演發表することになつてゐる